YAMAHA

ProjectPhone

PJPシリーズ導入事例　03

株式会社エヌオーイー様

導入機種 ➔ PJP-100H／2台　PJP-50R／1台

導入時期 ➔ 2006年9月

基本構成 ➔ 東京と大阪にPJP-100Hを各1台、名古屋にPJP-50Rを1台導入、IP接続による多拠点会議を実現

会社概要

創立	1960年2月
資本金	1億3,500万円
従業員	249人（2007年7月1日現在）
事業内容	海外旅行全般（ビジネストラベル部門／レジャートラベル部門）
本社所在地	東京都港区西新橋1-2-9　日比谷セントラルビル7階
事業所	大阪、名古屋、刈谷、バンコク、上海
URL	http://www.noe-j.co.jp/

東京・大阪・名古屋の3拠点をIP接続、多拠点間の快適な音声会議を実現しました。

PJP導入の背景

既存の電話会議システムは「音声の不具合」がネックに。

- ○ 以前から電話会議システムを導入
- ○ 同時会話ができないストレス
- ○ 拠点間接続の設定などが面倒

エヌオーイー様は1960年の創業以来、ビジネストラベル（業務渡航）とレジャートラベル（観光旅行）の2部門を軸とし、海外向け総合旅行業として成長を続けています。同社では1990年頃から業務効率化を目的として、東京・大阪・名古屋を結んだ電話会議システムを導入しました。導入当初から多拠点での音声会議のメリットを高く評価していた同社では、それ以降も機器を最新バージョンに更改し、回線も公衆回線から専用線、さらに広域イーサネットへと変更。しかし、会話中に音声が途切れる、同時会話ができないなどの「音声の不具合」に悩まされ続けて来ました。また拠点間接続のための最初の設定に時間がかかったり、内線網と電話会議で回線の取り合いになるなど、多くの問題が山積していました。こうした課題を一挙に解決したのが、ヤマハのIP電話会議システム、PJP-100Hだったのです。

PJPを選択した理由

高音質で初期設定が簡単、しかも手頃な価格だったPJP。

- ○ 使う場所が限定されるTV会議
- ○ 多人数会議には不向きのWeb会議
- ○ 必要要件を完璧に満たしたPJP

新しい会議システムの導入にあたり、同社はTV会議、Web会議など、さまざまなシステムを検討しました。まずTV会議は、使う場所が限定され、設定も煩雑で価格も高いと判断。またモニタ画面が有効活用できるのかとの疑問も残りました。Web会議は、個人対個人の会議には有効であるものの、東名阪の3拠点の会議室に大人数が出席し、双方向での議論をしたいという同社にニーズには不適合でした。同社がもっとも重視した要件とは、あくまで「音声」。共有すべき資料は事前にメール送信すればよく、リアルタイムで画面共有が必要な場合は専用ソフトで実現できるため、クリアな音声で双方向の議論ができるPJP-100Hが高く評価されたのです。さらに、LANケーブルさえあればどこでもすぐに使える便利さや、アドレス帳からすぐに接続設定ができる容易さ、また手頃な価格もPJP-100H選定の決め手となりました。

PJP導入の成果

3拠点間の会議に頻繁に使用、業務の効率化と活性化に貢献。

- ○ クリアな音声を社員が高く評価
- ○ 設置と設定の簡便さも好評
- ○ 高い使用頻度で業務効率化に貢献

同社は2006年9月に、東京本社と大阪支店にPJP-100Hを各1台、名古屋支店には少人数用のPJP-50Rを1台導入し、IP接続による新しい多拠点音声会議システムを実現。毎月の経営会議や部室長会議、現場同士の会議など、PJPは極めて頻繁に使われています。また東名阪を結んだ商品造成会議や販売促進会議など、同時会話が必要な現場担当者同士の会議でも大活躍しています。社内ユーザーの評価は極めて好評。「音質が従来の電話会議システムと全然違ってクリアだ」「どこでもすぐに使えて、設定も楽だ」「これまでのような音声トラブルがないので、会議の内容に没頭できる」といった声が寄せられています。IP電話会議システムの特長が、同社の業務効率化に大きく貢献しているのです。

ご導入いただいた機種

PJP-100H

希望小売価格:294,000円（本体価格 280,000円）
JANコード:49 60693 23263 7

通信機能を内蔵、ブロードバンドや企業内LANと接続可能なIP電話会議システム。高音質で、設置・設定も簡単!

YAMAHA

PJPシリーズ導入事例
株式会社エヌオーイー様

社内LANにつなぐだけで、すぐにIP接続による多拠点音声会議が実現。ヤマハの音響技術の粋を集めた、高性能会議システムです。

お客様の声

会議システムは、何よりも「音声」が命。PJPは当社の業務の活性化に大いに貢献しています。

「当社が早くから電話会議システムを導入したのは、出張費の削減や迅速な意思決定を実現するためでした。いろいろな会議システムを使い、検討してきましたが、最後に行き着いたのがPJPシリーズだったのです。決め手は、音質と使い勝手の良さです。相手の表情がモニタで見えたり、資料や画面を共有することも必要かも知れませんが、会議システムはやはり音声が命だと思います。多拠点間で普通の会話ができることが、何より重要なのです。その点、PJPシリーズは、非常に高く評価できます。経営的な意思決定や、現場同士の活発な議論に、今やPJPは欠かせません。また設置や設定が簡単なことも、PJPが社内で頻繁に使われている大きな理由でしょう。」（田中様）

株式会社エヌオーイー
執行役員人事・総務部部長
田中勉様

大きな会議室でも高い収音/再生能力を実現している。

販売パートナー様の声

IP接続、音質の良さなどの特長の他に、実は“手離れの良さ”もPJPの大きなメリットでした。

「弊社は、エヌオーイー様の各種社内システム環境をサポートさせていただいています。ヤマハのPJPシリーズは、エヌオーイー様が求める要件にピッタリの機器でした。非常に喜んでいただけて、私も嬉しい思いです。PJPの特長は、IP接続、音質の良さ、適応型エコーキャンセラーなど多々ありますが、実は“手離れの良さ”も大きなメリットです。最初の設置や設定が簡単で、運用面でのトラブルもないため、エヌオーイー様の情報システム部と弊社にとっては、非常に業務負荷が少ない機種なのです。これからもエヌオーイー様の業務生産性の向上に貢献するために、様々なご提案をさせていただくつもりですが、PJPにもますます進化してほしいと願っています。」（高田様）

TISソリューションビジネス株式会社
東京事業部営業部
高田清嗣様

簡単な操作説明シールを見れば、誰でも簡単に使えます。

PJP-100Hの特長

ヤマハの音響技術を結集させたPJPシリーズ。新しい形の会議システムを実現します。

IP接続

社内LANにつなげば、すぐに高音質な音声会議を実現

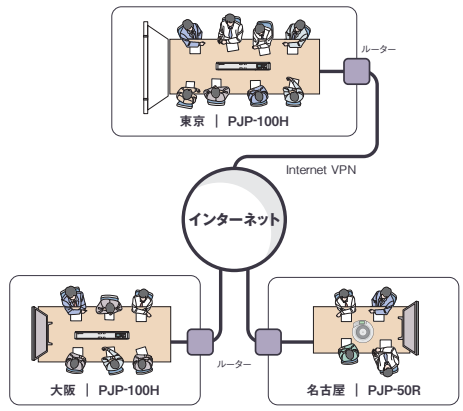
IPアドレスを割り振ったPJP-100Hを社内LANに接続すれば、各拠点間の高音質音声会議がすぐに実現。MCU（多地点接続装置）なしで、最大8拠点までの音声会議が可能です。またPJP-100Hは、7kHzの広帯域で会話が可能です。これはアナログ電話（3.4kHz）の約2倍。人間の声の周波数をほぼカバーするため、声だけでも誰が話しているかわかり、臨場感のある会議が実現できます。

双方向の会話

音切れやエコーを消去し、円滑な双方向会話が可能

一般に会議システムでは、スピーカーから再生された音がマイクに廻りこんでしまうことにより、エコーが発生します。PJPはエコーキャンセラーによりその音を的確に除去。より聞きやすく話しやすい、スムーズな双方向会話を実現します。またPJPの高性能適応型エコーキャンセラーは、使用されている環境を学習して自動的に調整します。そのため、いつどこで使ってもエコーや音切れが発生しません。

エヌオーイー様のネットワーク図



東名阪をIP接続し、低コストで高信頼性の多拠点会議を実現しています。

PJP-100Hの概要

●寸法／750（幅）×100（奥行）×65（高さ）mm　●重量／約2.9kg（電源アダプタ含まず）　●電源／AC100V 50/60Hz　●形状／音声会議機器
●対応プロトコル／UPnP対応、SIP準拠、DHCP　●LANインターフェース／10/100BASE-TX　●音声符号化方式／G.711拡張独自方式（fs=16kHz）G.711（μ-Law）G.726
●音声インターフェース／アナログ音声入出力（径3.5mmステレオミニジャック）、周波数帯域:300～7000Hz、本体スピーカー:アレイスピーカー12個、音量:85dB（0.5m）以上、本体マイク:アレイマイク16個×2列、指向性制御機能
●その他機能／適応型エコーキャンセラー、ノイズリダクション、多地点音声会議機能（メッシュ接続最大4地点、カスケード接続最大8地点）、ファームウェアリビジョンアップ機能（HTTP、TFTP）

⚠ **安全に関するご注意**　●本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。

YAMAHA
感 動 を ・ と も に ・ 創 る

プロジェクトフォンお客様ご相談センター
■ お電話によるお問い合わせ先　☎053-460-2822　■ FAXによるお問い合わせ先　053-460-2829
ご相談受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00（土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。）
◎会議システム プロジェクトフォンの最新情報はこちら　http://www.yamaha.co.jp/projectphone/

このパンフレットは無塩素漂白（ECF）パルプを使用しています。
このパンフレットは再生紙と大豆油インクを使用しています。

製造元　ヤマハ株式会社　サウンドネットワーク事業部　〒430-8650　静岡県浜松市中区中沢町10-1　2007年7月作成　カタログコード　MPJPD0003